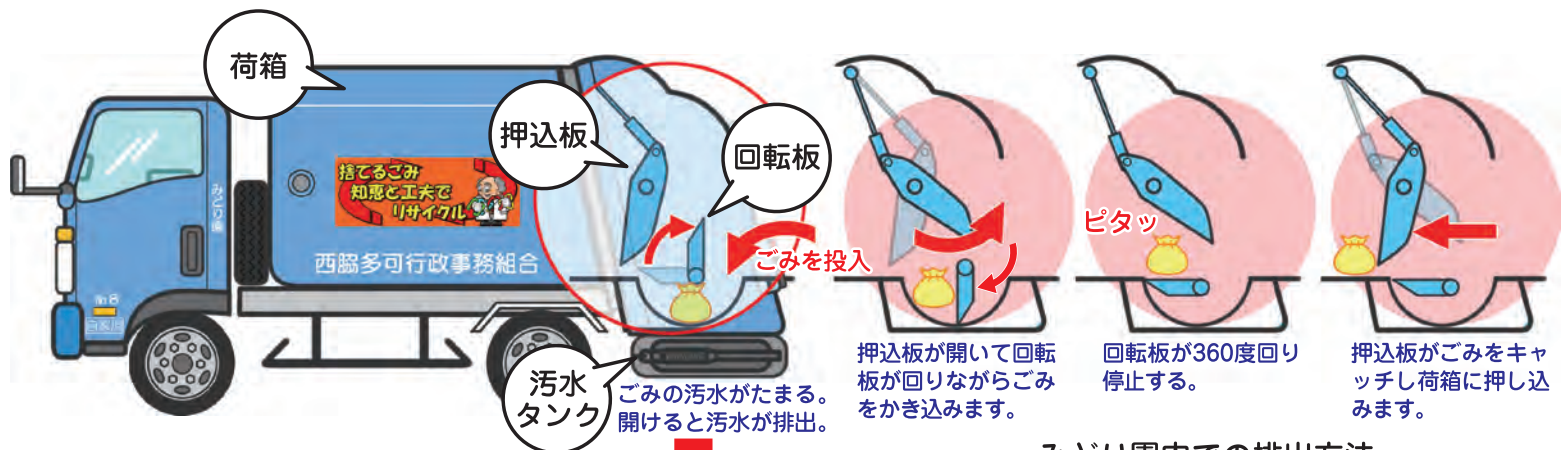


ごみ収集車の仕組みについて!

収集車の中はどうなってるのかな?



みどり園で活躍しているごみ収集車の仕組みを紹介します。
ごみ収集車は、自動車メーカーが製造した車両に特別な装置を組み合わせで作った車両です。
ダンプカーや救急車、消防車などと同じように『働くくるま』と呼ばれる車両になります。
ごみ収集車には、ごみの飛散や流失を防止する機能が付属しており、生活環境に配慮したエコな車両です。



ごみを回収する荷箱が満杯になればみどり園内の『ごみピット』とよばれる集約場に集められます。このピットはみどり園の地下層に設置されているため、車両のダンプ機能により、荷箱を斜めに持ち上げて、ごみを自然落下させます。

みどり園の『ごみピット』は、奥行き約9m、横幅19m、深さ9mの容量があり、約270トンのごみを一時保管することができます。ここに集められたごみが焼却処分されています。

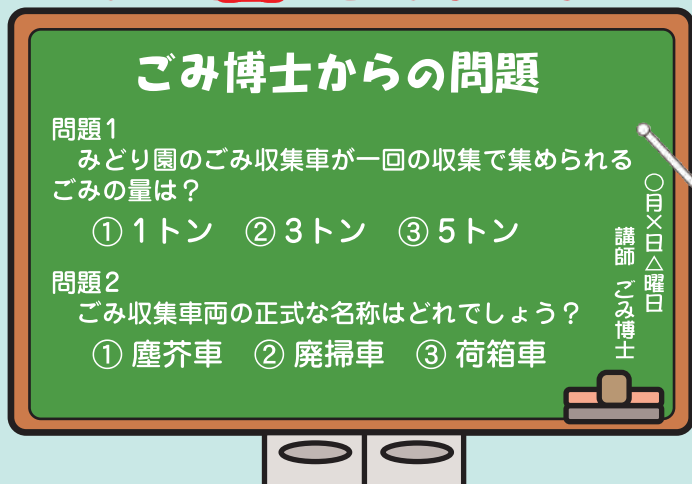


みどり園内での排出方法



テールゲートを開けて、荷箱をダンプさせ、ごみを落下・排出します。

みどり園のごみクイズ!



①②③で選ぶのじゃ
答えは最終ページ右下へ



当日の午前8時まで			
黄色指定袋 燃えるごみ	茶 ビン類	その他の不燃物類	
燃えるごみ	可燃ごみステーション	午前8時までに	
ビン(8色)	不燃ごみステーション	午前8時までに	
その他の不燃物類	不燃ごみステーション	午前8時までに	
当日の午後1時まで			
金属類	容器包装プラ	ペットボトル	
金属類	不燃ごみステーション	午後1時までに	
容器包装プラ	可燃ごみステーション	午後1時までに	
ペットボトル	可燃ごみステーション	午後1時までに	

分別ルールを守って、車両火災を防ぎましょう!

カセットボンベ、ライター、リチウムイオン電池などの危険物は火災事故の原因になります。

カセットボンベは必ず使い切ってから『金属類』に、プラスチック製ライターは使い切ってから『燃えるごみ』に、リチウムイオン電池は購入店での引取り可能な場合は購入店で、引取り不可の場合はテープなどの絶縁処置をして『その他の不燃物類』の指定日に持ち出してください。



リチウムイオン電池が原因と思われる車両火災